

緊急
提言

市民の不安に応える 新型コロナ対策を実行!

◎ストップ! 感染拡大 PCR 検査体制を拡充

- エッセンシャルワーカー*を守り、医療・介護・保育サービスを安心して受けられる基盤を守ります。

*エッセンシャルワーカー=生活維持に欠かせない職業に就いている方々のこと

◎徹底した情報公開で、市民の不安を取り除く

- 市内の感染状況を徹底調査し、トップ自ら積極的に情報発信に努めます。

◎働く人と、暮らしを守る

- 第三波で打撃を受けた飲食店、福祉施設等への支援・助成を行います。
- コロナ禍での地域活動を支え、体力・認知機能の低下や孤立化を防ぎます。
- 市民に負担を求める国民健康保険料の値上げは、凍結します。



西東京市長選挙の候補予定者として記者会見を行いました

いくぞ! 平井 竜一

ひらいりゅういち

(54 歳)



市民の不安に応える対策を!
新型コロナウイルスから市民の命と暮らしを守ります。

平井竜一プロフィール

1966年 横浜市生まれ

1985年 神奈川県立横須賀高校卒業(陸上部)

1989年 早稲田大学社会科学部卒業(探検部)

1989年 (株)ASK PLANNING CENTER入社

1998年 逗子市議会議員当選(31歳/3期)

2006年 逗子市長当選(40歳/3期)~2018年

2019年 (一社)公共経営研究センター 事務局長

2020年 (一社)災害時電源等派遣互助協会 事務局長

2020年 (資)まちづくりコーディネーター代表

2020年 西東京市中町に移住

好きなもの: ビートルズ、カレーパン

趣味: ジョギング

家族: 妻、長男(23歳)、長女(19歳)、次男(17歳)

平日の朝は、市内各駅で活動報告を行っています。ぜひ、お気軽にお声かけください! ↓



立憲民主党の末松義規衆議院議員も駆けつけてくださいました。

市役所建設問題を決着!
20万人都市にふさわしい図書館構想を描きます。

このまちで子育てがしたい!
待機児ゼロ、一人ひとりに寄り添う教育を実現します

災害時に迅速な判断で、
トップの責務を果たします

地球環境のために
持続可能な
社会づくりを推進します

高齢者が安心して
住み続けられるまちへ!
ささえ合いの
地域づくりを進めます

しがらみのない若い力で、 もっと、わくわくするまちへ。



みんなで描こう! まちのみらい

平井×みらいカフェ

詳しくは特設ページをご覧ください。

オンラインしゃべり場、開催します!!

1月9日(土) テーマ: 福祉・介護

1月16日(土) テーマ: 防災

1月23日(土) テーマ: 環境

(時間はいずれも19時~20時30分)

寄付のお願い

ゆうちょ銀行からの場合
(口座番号) 00160-1-768531
口座名称) 西東京市のみらいをひらいていく会

他銀行からの場合
(店番) 019 (当座) 0768531
口座名称) 西東京市のみらいをひらいていく会

寄付金は一口1,000円からとなります。皆様のあたたかいご協力、よろしくお願いいたします。

ボランティアも募集中!

以下のメールにお申し込みください
info@hirairyuichi.com

私たちが、平井竜一さんと共に政策を推進します

立憲民主党・西東京・生活者ネットワーク・日本共産党・無所属市議有志一同・安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める西東京市民連合

発行元: 西東京市のみらいをひらいていく会 (代表: 藤井一男) 活動報告レポートNO.2 2021年1月5日発行 〒202-0015 東京都西東京市保谷町6-25-1-103 TEL: 042-439-3811 Mail: info@hirairyuichi.com

こんな
もんじゃ
ないぞ
西東京市

対話と協働で、だれもが誇りに思える西東京市へ

平井 竜一 6つの政策

◎もっと魅力あるまちへ

- ・まちと人をつなぐ滞在型の図書館構想で、豊かな文化都市を実現します。
- ・田無駅南口周辺のエリアマネジメントで、まちの魅力を高めます。
- ・西武新宿線連続立体交差化事業で東伏見地域を活性化します。
- ・保谷庁舎の跡地活用を市民とともに考えます。

◎今こそ防災の基盤づくりを

- ・防災資機材、備蓄品を見直し、感染症も含めたあらゆるリスクに備えます。
- ・避難所運営協議会と連携し、地域のささえ合いを強化します。
- ・避難所のコロナ対策と、在宅避難者を支援するしくみづくりに取り組みます。
- ・復旧の障壁となる災害ごみ対策に着手します。

◎もっと市民が活躍できるまち

- ・市民の文化芸術活動を支援し、アートによるまちづくりで地域の活性化を進めます。
- ・市民提案に基づく事業を予算化し、協働のまちづくりを推進します。
- ・公民館、ゆめこらぼ、地域福祉との連携で、豊かなコミュニティづくりを進めます。
- ・人権を尊重し、誰もが自分らしく過ごせるまちをつくります。



◎福祉を実感できるまち

- ・どんな困りごとにも丸ごと受け止める相談支援体制の充実に努めます。
- ・介護と医療の連携強化で、在宅介護を支えます。
- ・ささえ合えるコミュニティをもっと豊かに！歩いて通える居場所づくりを進めます。
- ・障害者が日中活動できる場と、社会参加の機会を増やします。



◎子育てが楽しくなるまち 子どもが生き生き育つまち

- ・孤立しがちな子育てに寄り添い、地域のつながりづくりを支援します。
- ・待機児ゼロと学童保育の過密化解消に、全力で取り組みます。
- ・子ども一人ひとりの特性やニーズに応じた、個に寄り添う教育を実現します。
- ・少人数学級を推進します。
- ・子ども条例の推進で、子どもにやさしいまち、子どもの意見を生かすまちを実現します。



◎未来に続く持続可能なまち

- ・「気候非常事態宣言」を行い、温室効果ガス削減に向けた取り組みを強化します。
- ・公園の緑やまちなかの緑、東大農場の緑を大切に、都市農地の保全に取り組みます。
- ・公用車の電気自動車化で温暖化を防止し、災害時には移動式電源として活用します。



平井竜一のマottoは、「くじけず、あせらず、あきらめず」

早稲田大学時代は探検部に所属していました。国内では、山登りや洞窟探検、川下りなどのアウトドア生活。夏はインドや中国をひとり無銭旅行していました。

どんな困難な壁にも挑む精神力が鍛えられた学生時代。「くじけず」「あせらず」「冷静に見極め、最後まで「あきらめず」に挑み続ける。大自然と向き合い、何度も危険な場面に遭遇して得た、自らを奮い立たせる言葉です。



駅伝大会に毎年参加。今でも走っています。写真は53歳の頃。



3000m級の山々が連なる南アルプスの冬山登山合宿。前列右側が平井

ご存じですか？ 西東京市の厳しい財政状況

どんな政策の実現にも、財政的な裏付けが必要です。3期12年務めた逗子市長時代も、財政分析の重要性を肌身で感じながら、トップとしての政策判断を行ってきました。

西東京市の財政白書によると、投資的な事業に使える財源は全収入のわずか5%、いざという時の財政調整基金(家計に例えると「貯金」)の残高は過去最低レベル、と極めて厳しい状況です。しかも来年度はコロナの影響で、約20億円の税収減が予想されています。

しかし、西東京市では働く世代の流入が続き、高齢化率も24%と低く、私から見れば、まだまだ伸びしろのあるまちです。合併時から整理し切れていない事業を見直せば、市民負担を抑えつつ財源を捻出することは可能です。

そのためにも情報を全てオープンにした上で市民との対話を重ねながら、政策に優先順位をつけていくべきです。

コロナ禍で財政の分岐点を迎えた今、私だからこそできることがあります。

